

問1 一つの選挙区から一人の代表者を選出する小選挙区制において、ある選挙区の有権者数が482,314人、別の選挙区の有権者数が231,343人である場合、民主政治の観点から指摘される課題として最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 有権者数が少ない選挙区の方が、一票が議席に結びつく割合が高くなり、投票価値の平等が損なわれている。
2. 有権者数が多い選挙区では、落選した候補者に投じられた「死票」が必ず少なくなるため、民意が正確に反映されている。
3. 全国平均の有権者数（365,418人）を超える選挙区を増やすことで、都市部の代表者を減らす必要がある。
4. 一票の重みを揃えるために、すべての選挙区の有権者数を最も少ない231,343人に統一しなければならない。

問2 期日前投票制度が導入・拡充されている主な目的と、その具体的な仕組みの説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 有権者の投票機会を増やして投票率の低下を防ぐため、投票日当日に投票できない理由を記した宣誓書を提出することで直接投票ができる。
2. 選挙費用の削減を目的として、自宅からインターネットを通じて、投票日の前日までにオンラインで投票を完結させる。
3. 若年層の政治関心を高めるため、特定の年齢以下の有権者に限り、事前の手続きなしで全国どこでも投票所からでも投票できる。
4. 開票作業の迅速化を図るため、すべての有権者が必ず投票日の一週間前までに郵送で投票を済ませなければならない。

問3 2014年の衆議院議員総選挙では、東京都第1区の有権者数が約49万人であったのに対し、宮城県第5区は約23万人となりました。このように、選挙区ごとの有権者数の違いにより、議員1人あたりが代表する人数に大きな開きが生じ、国民の一票が持つ価値に実質的な不平等が生まれる問題を何と呼びますか。（2018年 富山県公立入試 類似）

1. 一票の格差
2. 比例代表制
3. 死票の増加
4. 政党交付金

問4 現在の日本の衆議院議員総選挙において、小選挙区制とともに導入されており、全国を11のブロックに分けて各政党の得票数に応じて議席を配分する制度と、小選挙区制を合わせた名称を何といいますか。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 小選挙区比例代表並立制
2. 小選挙区比例代表併用制
3. 中選挙区制
4. 政党名簿併記制

問5 参議院議員選挙などで課題となる「一票の格差」について、その内容と背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2018年 京都公立入試 類似）

1. 選挙区ごとの有権者数と議員定数の比率が異なるため、国民の意思が公平に反映されないこと
2. 比例代表制において、政党の得票率と獲得議席数の割合が一致しなくなること
3. 財政力のある候補者が有利になり、立候補の機会に不平等が生じること
4. 年齢や性別によって投票できる人の範囲が制限され、有権者数が変動すること

問6 日本の選挙制度の変遷と現状について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 明治時代の初期から、納税額に関わらずすべての成人男女に選挙権が認められていた。
2. 1925年の法改正によって、納税額による制限は撤廃されたが、選挙権は依然として男性のみに限定されていた。
3. 現在の日本国憲法下では、一票の価値に差をつけないことを「普通選挙」と定義している。
4. 2015年の公職選挙法改正により、被選挙権（立候補できる権利）がすべての役職で満18歳以上に引き下げられた。

問7 日本の選挙制度の一つである「比例代表制」について、その仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）

1. 有権者が政党に対して投票を行い、各政党の得票数に応じて議席を配分する仕組み
2. 一つの選挙区から、得票数の最も多かった候補者一人だけが当選する仕組み
3. 一つの選挙区から、得票数の多い順に二人以上の当選者が出る仕組み
4. 各自治体の人口に関わらず、すべての都道府県に均等な数の議席を割り当てる仕組み

問8 定数465の衆議院において、ある選挙でX党が214議席を獲得しましたが、単独では過半数に届きませんでした。そこでX党は、政策面で親和性が高く28議席を持つZ党と協力して政権を担当することにしました。このように、複数の政党が合意に基づいて内閣を構成する最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 法案や予算案の可決に必要な過半数の議席を確保し、政権運営を安定させるため
2. 全ての政党の意見を均等に政権に反映させ、野党が存在しない状態を作るため
3. 選挙管理委員会の指示により、議席数に応じた議席配分を強制されるため
4. 内閣総理大臣を複数人選出することで、権力の集中を分散させるため

## 答え合わせ・解説

|    |  |  |
|----|--|--|
| 問1 | <b>答え 1</b><br>有権者数が少ない選挙区の方が、一票が議席に結びつく割合が高くなり、投票価値の平等が損なわれている。               | 議員1人を選ぶのに必要な票数が少なくて済む「有権者数が少ない選挙区」では、相対的に一票の重み（価値）が大きくなります。提示されたデータでは、約48万人の選挙区と約23万人の選挙区で2倍以上の開きがあり、これが憲法違反の状態であるとして裁判が起こされることもあります。「死票」は小選挙区制において多数派以外の票が議席に結びつかないことを指す別の概念であり、有権者数の多寡だけで決まるものではありません。 |
| 問2 | <b>答え 1</b><br>有権者の投票機会を増やして投票率の低下を防ぐため、投票日当日に投票できない理由を記した宣誓書を提出することで直接投票ができる。 | この制度は、仕事やレジャーなどの多様なライフスタイルに対応し、有権者がより投票しやすくすることで投票率を向上させることを狙いとしています。日本ではインターネット投票はまだ導入されておらず、郵送投票も身体に重度の障害があるなど特定の条件を満たす場合に限られています。   |
| 問3 | <b>答え 1</b><br>一票の格差   | 有権者数が多い選挙区では、少ない選挙区に比べて一票が議席に結びつく影響力が小さくなります。この状態は、日本国憲法第14条が定める「法の下での平等」に反する可能性があるため、最高裁判所によって「違憲状態」との判断が下されることもあります。これを是正するために、選挙区の区割りを変更するなどの対策が取られています。  |
| 問4 | <b>答え 1</b><br>小選挙区比例代表並立制   | 日本の衆議院議員総選挙では、1つの選挙区から1人を選ぶ小選挙区制と、政党の得票率に応じて議席を割り当てる比例代表制を同時に行う「小選挙区比例代表並立制」が採用されています。これは、小選挙区制による政権の安定と、比例代表制による死票の抑制や多様な意見の反映という、両方の制度のメリットを組み合わせることを目的としています。   |
| 問5 | <b>答え 1</b><br>選挙区ごとの有権者数と議員定数の比率が異なるため、国民の意思が公平に反映されないこと                      | 民主政治の基本は、国民の意思を正しく政治に反映させることにあります。有権者数と議員定数のバランスが崩れると、一部の地域の有権者の意思が他より強く反映されてしまい、主権者である国民の間で不平等が生まれるため、制度の見直しが常に求められています。  |
| 問6 | <b>答え 2</b><br>1925年の法改正によって、納税額による制限は撤廃されたが、選挙権は依然として男性のみに限定されていた。            | 日本の選挙の歴史において、1925年の普通選挙法では25歳以上の男性に選挙権が与えられ、納税額による制限がなくなりました。しかし、女性に選挙権が認められたのは第二次世界大戦後の1945年のことです。現在、満18歳以上のすべての国民に選挙権を認める仕組みは、憲法に基づく普通選挙の原則として確立されています。  |
| 問7 | <b>答え 1</b><br>有権者が政党に対して投票を行い、各政党の得票数に応じて議席を配分する仕組み                           | 比例代表制は、有権者が特定の個人ではなく政党を選んで投票し、各政党が獲得した票の割合（得票率）に応じて議席を割り振る制度です。小選挙区制に比べて、得票が議席に結びつかない「死票」を減らすことができ、各政党の支持率をより正確に議席数へ反映させることができます。  |
| 問8 | <b>答え 1</b><br>法案や予算案の可決に必要な過半数の議席を確保し、政権運営を安定させるため                            | 衆議院の定数465に対し、過半数は233議席です。この事例では、X党の214議席にZ党の28議席を合わせることで242議席となり、過半数を超えることができます。内閣が提出した法案を成立させるには国会での多数決が必要なため、複数の政党が手を組んで議席を積み増すことで、安定的かつ円滑な政治運営を目指します。   |